

「南の縄文文化魅力発信事業」

県立埋蔵文化財センター

「南の縄文文化魅力発信事業」の目的

これまで県内の遺跡から出土した土器や石器などの出土品を、再整理・修復して新たな素材として展示活用することで、南の縄文文化の魅力を幅広く情報発信し、郷土の魅力や埋蔵文化財への理解を深めることをねらいとしています。

また、展示だけでなく、地域の史跡や文化財を活用して学習活動を展開する授業支援も併せて行い、未来を担う子供たちが、郷土の歴史や文化に誇りをもち、郷土を愛する心を育むことを目指しています。

出張展示・企画展

出張展示では、埋蔵文化財センターの職員が県内で出土した本物の遺物や写真等の資料を展示しながら来場者の方へ説明を行っています。主な展示として、11月9日（土）・10日（日）に東京のかごしま遊楽館において「南の縄文文化展」を行いました。上野原遺跡をはじめとする県内23遺跡約90点の遺物を展示しました。他地域では見られない角筒・レモン形土器や縄文時代にすでに壺形土器が作成されていたことなど、南九州にとっても高い技術をもった縄文人がいたことに来場者の方々は驚かれています。普段は、博物館のガラスケース越しに見る土器や石器を間近で見たり、体験コーナーで土器を手にとって触ったりして、文様の緻密さや薄さにも注目していただきました。2日間で200名を超える多くの方が来場してくださり、南の縄文文化を楽しんでいただきました。



【かごしま遊楽館での出張展示】

また企画展では、埋蔵文化財センターが所蔵する遺物の中から地域の資料を抽出し、市町村や地域と協力しながら展示を行いました。



【文化祭参加「伊集院地域文化祭」(伊集院文化会館)】



出前授業（ワクワク考古楽）

今年度も多くの学校・団体から申し込みがあり、出前授業（ワクワク考古楽）を実施しています。本物の遺物を使って授業を行い、実際に遺物に触れることのできる貴重な体験もできます。これまでに小学校13校、中学校4校、特別支援学校1校、1団体に活用していただきました。申請書等は不要で、電話での申込みで対応いたします。興味のある方はぜひ御連絡ください。



【徳之島での出前授業】